



大仙市太田町のレストランで、高校生が奮闘しています。

県内で唯一の分校、大曲農業太田分校の生徒たちです。

本間さん「昔は全校で300人くらいいた大きめの分校だったんですけど。今年はずいぶん50人弱という少ない人数になってしまいました。」そう話すのは、大仙市役所太田支所に勤務する本間雅詞（まさと）さん。彼はこのプロジェクトの仕掛け人。本間さん「分校の生徒さんのチカラを借りながら、地域の活性化に繋がるようなレストランになってくれればいいなと思います。」

それは高校生レストラン。将来、人と関わる仕事に就きたいと思っている情報教養コースの3年生7人が、分校で作られた無農薬無化学肥料の農作物や地域の野菜で考案した料理を届ける場所。

戸部萌夏さん「来てくれた方が、料理を食べて、元気に頑張ろうかなって 思いになって欲しいなって想いを込めて。」

オープンと同時に多くの方が…。そして料理を目にして、笑顔が溢れます。

それは地域の人たちに、生徒の想いが届いた瞬間。分校レストランは、心と心を繋ぐ場所になったのです。

用意した60食は、あっという間に完売しました。

藤井聖弥さん「自分たちの活動が色々な人たちに伝わっていると言うのが、自分たちにとって一番嬉しい事だと思います。」

地域に根差した活動…。太田分校レストランは来年1月まで、新たな絆を生み出していきます。